加法と 減法

中1／解き方プリント 項目3／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 同符号は 絶対値の 和に 共通の 符号。異符号は 絶対値の 差に、絶対値の 大きい 方の 符号を つける
きまり② 減法は ひく 数の 符号を 変えて 加法に する。0 から ひく ときも 同じ

れい (−2) + (+6) = +4（異符号 → 6 − 2 = 4、大きい 方 +6 の 符号）

○ (−2) − (+6) = −8　　× (−2) − (+6) = +4

・答えを 四角に 書く。−（マイナス）を 省かない。分数は 約分する。○で かこむ 問題は 1つ だけ かこむ。 加法と 減法の 符号の きまりを 使う。
・大問3は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 加法

(1) **(−5) + (+9)** ＿＿＿＿

(2) **(+4) + (−11)** ＿＿＿＿

(3) **(−6) + (−7)** ＿＿＿＿

(4) $\left(-\frac{3}{4}\right) + \left(+\frac{1}{2}\right)$ ＿＿＿＿

大問2 減法

(1) **(+4) − (−6)** ＿＿＿＿

(2) **(−9) − (+5)** ＿＿＿＿

(3) **0 − (−8)** ＿＿＿＿

(4) **(+2) − (+7)** ＿＿＿＿

大問3 まちがいを 直す

(1) **「(+3) + (−7) = −10」**

正しい　まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

(2) **「(+6) − (−2) = 4」**

正しい　まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

見直し □ 加法か 減法か 決めた □ ひく 数の 符号を 変えた □ 答えの 符号を 確かめた まちがい（ ）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

加法・減法の 答えを 選ぶ ドリル①

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目3 ①（選ぶ）／目標 10分

・大問1は、正しい 答えを ○で かこむ（1つ だけ）。
・大問2は、答えが 正の数か 負の数か 0 かを ○で かこむ。計算は 余白で してよい。加法と 減法の 符号の きまりを 使う。

大問1 答えを 選ぶ

(1) **(−6) + (+2)**

−8　4　−4

(2) **(+3) + (−9)**

−6　6　−12

(3) **(−5) − (+3)**

−2　−8　2

(4) **(+7) − (−4)**

3　−11　11

(5) **(−10) + (+3)**

−7　−13　7

(6) **(+2) − (+8)**

6　−10　−6

大問2 答えの 符号を 選ぶ

(1) **(+4) + (−9) の 答えは**

正の数　負の数　0

(2) **(−3) − (−8) の 答えは**

正の数　負の数　0

(3) **(−7) + (+7) の 答えは**

正の数　負の数　0

(4) **(+2) − (+6) の 答えは**

正の数　負の数　0

(5) **(−2) − (−2) の 答えは**

正の数　負の数　0

(6) **(−9) + (+15) の 答えは**

正の数　負の数　0

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

加法・減法を　書く　ドリル②

中1／ドリル　項目3 ②（書く）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1〜3は、答えを　四角に　書く。−（マイナス）を　省かない。分数は　約分する（小数の　問題は　小数で　答える）。加法と　減法の　符号の　きまりを　使う。

大問1　加法

(1) $(-8) + (+3)$ □

(2) $(+6) + (-14)$ □

(3) $(-12) + (-9)$ □

(4) $(+\frac{1}{2}) + (-\frac{2}{3})$ □

大問2　減法

(1) $(-7) - (-10)$ □

(2) $(+5) - (+12)$ □

(3) $(-11) - (+6)$ □

(4) $0 - (+9)$ □

(5) $(-\frac{1}{3}) - (-\frac{3}{4})$ □

(6) $(+0.5) - (+1.2)$ □

大問3　分数・小数の　加法と　減法

(1) $(-\frac{3}{5}) + (-\frac{1}{2})$ □

(2) $(+\frac{7}{4}) - (+\frac{9}{4})$ □

(3) $(-0.6) - (-0.9)$ □

(4) $(-2.5) + (-1.5)$ □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

加法・減法の □に あてはまる 数 ドリル③

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目3 ③（逆向き）／目標 12分

大問1〜3は、□に あてはまる 数（1つ）を その 問の 下の わくに 書く。−（マイナス）を 省かない。答えは 整数。答えを □に 入れて 式が 成り立つか たしかめて よい。 加法と 減法の 符号の きまりを 使う。

大問1 加法の □

(1) **□ + (−3) = 5**

□ = ＿＿＿＿

(2) **(−6) + □ = −2**

□ = ＿＿＿＿

(3) **□ + (+8) = −3**

□ = ＿＿＿＿

大問2 減法の □

(1) **□ − (−4) = −1**

□ = ＿＿＿＿

(2) **(+5) − □ = −2**

□ = ＿＿＿＿

(3) **□ − (+7) = −6**

□ = ＿＿＿＿

(4) **(−3) − □ = −9**

□ = ＿＿＿＿

大問3 まざった □

(1) **(−9) + □ = −4**

□ = ＿＿＿＿

(2) **□ − (−3) = −8**

□ = ＿＿＿＿

(3) **(−4) − □ = 3**

□ = ＿＿＿＿

(4) **□ + (+5) = −5**

□ = ＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

加法・減法の 答案を 直す ドリル④

中1／ドリル 項目3 ④（直す）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・加法・減法の 答案 A〜H を 読み、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこむ。
・四角には、まちがいの 答案なら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 書く。 加法と 減法の 符号の きまりを 使う。

大問1 答案を 調べる

A 「(+5) + (−9) = 14」

正しい　まちがい

正しい答え

B 「(−4) + (+10) = 6」

正しい　まちがい

正しい答え

C 「(−8) + (−5) = −3」

正しい　まちがい

正しい答え

D 「(+3) − (−7) = −4」

正しい　まちがい

正しい答え

E 「(−12) − (+5) = −17」

正しい　まちがい

正しい答え

F 「0 − (−4) = 4」

正しい　まちがい

正しい答え

G 「(+4) − (+9) = 5」

正しい　まちがい

正しい答え

H 「$(-\frac{2}{3}) + (+\frac{1}{4}) = -\frac{5}{12}$」

正しい　まちがい

正しい答え

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

加法と 減法 ドリル⑤

中1／ドリル 項目3 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿ /25

・全部で 25点・15分。答えは 四角に、大問4の 説明は、自分の ことばで 枠に 書く。○で かこむ 問題は 1つ かこむ。−（マイナス）を 省かない。 加法と 減法の 符号の きまりを 使う。
・大問3は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 選ぶ

各2点（6点）

(1) **(−9) + (+4)**

13　5　−5

(2) **(−8) − (−3) の 答えは**

正の数　負の数　0

(3) **(+6) − (+10)**

−4　4　−16

大問2 計算

各3点（9点）

(1) $(-\frac{1}{4}) + (+\frac{5}{6})$

(2) **(−15) − (+8)**

(3) **0 − (−1.5)**

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) **「(+8) + (−13) = 21」**

正しい　まちがい

正しい答え

(2) **「(−6) − (−9) = 3」**

正しい　まちがい

正しい答え

大問4 説明

6点

(+1) − (+6) の 計算を、「ひく 数の 符号」と「絶対値」の 語を 使って 順に 説明しなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

加法と 減法【こたえ】

中1／解き方プリント 項目3／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 同符号は 絶対値の 和に 共通の 符号。異符号は 絶対値の 差に、絶対値の 大きい 方の 符号を つける
きまり② 減法は ひく 数の 符号を 変えて 加法に する。0 から ひく ときも 同じ

れい (−2) + (+6) = +4（異符号 → 6 − 2 = 4、大きい 方 +6 の 符号）

◯ (−2) − (+6) = −8　　× (−2) − (+6) = +4

大問1 加法

(1) **(−5) + (+9)** → **4**

(2) **(+4) + (−11)** → **−7**

(3) **(−6) + (−7)** → **−13**

(4) $(-\frac{3}{4}) + (+\frac{1}{2})$ → $-\frac{1}{4}$

大問2 減法

(1) **(+4) − (−6)** → **10**

(2) **(−9) − (+5)** → **−14**

(3) **0 − (−8)** → **8**

(4) **(+2) − (+7)** → **−5**

大問3 まちがいを 直す

(1) 「(+3) + (−7) = −10」

正しい　**まちがい**

正しい答え **−4**

(2) 「(+6) − (−2) = 4」

正しい　**まちがい**

正しい答え **8**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) 異符号 → 9 − 5 = 4、大きい 方は +9 で +4。(2) 異符号 → 11 − 4 = 7、大きい 方は −11 で −7。(3) 同符号 → 6 + 7 = 13 に − で −13。(4) 通分して $-\frac{1}{4}$。

大問2 (1) (+4) + (+6) = +10。(2) (−9) + (−5) = −14（ひかれる数の 符号は 変えない）。(3) 0 + (+8) = +8。(4) (+2) + (−7) = −5。

大問3 (1) は 異符号なのに 絶対値を たしている（正しくは −4）。(2) は ひく 数の 符号を 変えていない（正しくは +8）。

答えの + は 省いても ○。分数の 答えは 上下でも 斜め線でも ○。

加法・減法の 答えを 選ぶ ドリル①【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目3 ①（選ぶ）／目標 10分

大問1 答えを 選ぶ

(1) **(−6) + (+2)**

−8　4　**−4**

(2) **(+3) + (−9)**

−6　6　−12

(3) **(−5) − (+3)**

−2　**−8**　2

(4) **(+7) − (−4)**

3　−11　**11**

(5) **(−10) + (+3)**

−7　−13　7

(6) **(+2) − (+8)**

6　−10　**−6**

大問2 答えの 符号を 選ぶ

(1) **(+4) + (−9) の 答えは**

正の数　**負の数**　0

(2) **(−3) − (−8) の 答えは**

正の数　負の数　0

(3) **(−7) + (+7) の 答えは**

正の数　負の数　**0**

(4) **(+2) − (+6) の 答えは**

正の数　**負の数**　0

(5) **(−2) − (−2) の 答えは**

正の数　負の数　**0**

(6) **(−9) + (+15) の 答えは**

正の数　負の数　0

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) は 6 − 2 = 4 で 大きい 方 −6 の 符号の −4（−8 は 絶対値を たした）。(2) は −6。(3) は −8。(4) は +11。(5) は −7。(6) は −6。

大問2 (1) −5 → 負、(2) −3 + 8 = +5 → 正、(3) 0、(4) 2 + (−6) = −4 → 負、(5) −2 + 2 = 0、(6) +6 → 正。

加法・減法を　書く　ドリル②【こたえ】

中1／ドリル　項目3 ②（書く）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1　加法

(1) $(-8) + (+3)$ → **-5**

(2) $(+6) + (-14)$ → **-8**

(3) $(-12) + (-9)$ → **-21**

(4) $(+\frac{1}{2}) + (-\frac{2}{3})$ → **$-\frac{1}{6}$**

大問2　減法

(1) $(-7) - (-10)$ → **3**

(2) $(+5) - (+12)$ → **-7**

(3) $(-11) - (+6)$ → **-17**

(4) $0 - (+9)$ → **-9**

(5) $(-\frac{1}{3}) - (-\frac{3}{4})$ → **$\frac{5}{12}$**

(6) $(+0.5) - (+1.2)$ → **-0.7**

大問3　分数・小数の　加法と　減法

(1) $(-\frac{3}{5}) + (-\frac{1}{2})$ → **$-\frac{11}{10}$**

(2) $(+\frac{7}{4}) - (+\frac{9}{4})$ → **$-\frac{1}{2}$**

(3) $(-0.6) - (-0.9)$ → **0.3**

(4) $(-2.5) + (-1.5)$ → **-4**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) −5、(2) −8、(3) −21（同符号は 和）、(4) 通分して $\frac{3}{6} - \frac{4}{6} = -\frac{1}{6}$。

大問2 (1) (−7) + (+10) = +3、(2) (+5) + (−12) = −7、(3) −17、(4) 0 + (−9) = −9、(5) $-\frac{1}{3} + \frac{3}{4} = \frac{5}{12}$、(6) 0.5 − 1.2 = −0.7。

大問3 (1) $-\frac{6}{10} - \frac{5}{10} = -\frac{11}{10}$（仮分数の ままで ○。$-1\frac{1}{10}$ でも ○）、(2) $-\frac{2}{4} = -\frac{1}{2}$、(3) −0.6 + 0.9 = +0.3、(4) −4。

分数の 答えは 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。+ は 省いても ○。

加法・減法の □に あてはまる 数 ドリル③【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目3 ③（逆向き）／目標 12分

大問1 加法の □

(1) □ + (−3) = 5

□ = 8

(2) (−6) + □ = −2

□ = 4

(3) □ + (+8) = −3

□ = −11

大問2 減法の □

(1) □ − (−4) = −1

□ = −5

(2) (+5) − □ = −2

□ = 7

(3) □ − (+7) = −6

□ = 1

(4) (−3) − □ = −9

□ = 6

大問3 まざった □

(1) (−9) + □ = −4

□ = 5

(2) □ − (−3) = −8

□ = −11

(3) (−4) − □ = 3

□ = −7

(4) □ + (+5) = −5

□ = −10

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) □ = 5 − (−3) = 8。(2) □ = −2 − (−6) = 4。(3) □ = −3 − 8 = −11。

大問2 (1) □ = −1 + (−4) = −5。(2) □ = 5 − (−2) = 7。(3) □ = −6 + 7 = 1。(4) □ = −3 − (−9) = 6。

大問3 (1) □ = −4 − (−9) = 5。(2) □ = −8 + (−3) = −11。(3) □ = −4 − 3 = −7。(4) □ = −5 − 5 = −10。

たしかめ: (1) 8 + (−3) = 5 のように 答えを □に 入れて 式が 成り立てば ○。

加法・減法の 答案を 直す ドリル④【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目3 ④（直す）／目標 12分

大問1 答案を 調べる

A 「(+5) + (−9) = 14」

正しい　**まちがい**

正しい答え **−4**

B 「(−4) + (+10) = 6」

正しい　まちがい

正しい答え **同じ**

C 「(−8) + (−5) = −3」

正しい　**まちがい**

正しい答え **−13**

D 「(+3) − (−7) = −4」

正しい　**まちがい**

正しい答え **10**

E 「(−12) − (+5) = −17」

正しい　まちがい

正しい答え **同じ**

F 「0 − (−4) = 4」

正しい　まちがい

正しい答え **同じ**

G 「(+4) − (+9) = 5」

正しい　**まちがい**

正しい答え **−5**

H 「$(-\frac{2}{3}) + (+\frac{1}{4}) = -\frac{5}{12}$」

正しい　まちがい

正しい答え **同じ**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

A は 異符号なのに 絶対値を たしている（正しくは −4）。B は 大きい 方 +10 の 符号 + で +6 が 正しい。C は 同符号の 加法で 差を とっている（正しくは −13）。

D は ひく 数の 符号を 変えていない（正しくは +10）。E は −12 + (−5) = −17 で 正しい。F は 0 + (+4) = +4 で 正しい。

G は (+4) + (−9) = −5（+5 は 大きい 方から 小さい 方を ひいた まちがい）。H は $-\frac{8}{12} + \frac{3}{12} = -\frac{5}{12}$ で 正しい。

加法と 減法 ドリル⑤【こたえ】

中1／ドリル 項目3 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿ /25

大問1 選ぶ

各2点（6点）

(1) **(−9) + (+4)**

13　5　**−5**

(2) **(−8) − (−3) の 答えは**

正の数　**負の数**　0

(3) **(+6) − (+10)**

−4　4　−16

大問2 計算

各3点（9点）

(1) $(-\frac{1}{4}) + (+\frac{5}{6})$

$\frac{7}{12}$

(2) **(−15) − (+8)**

−23

(3) **0 − (−1.5)**

1.5

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) **「(+8) + (−13) = 21」**

正しい　**まちがい**

正しい答え **−5**

(2) **「(−6) − (−9) = 3」**

正しい　まちがい

正しい答え **同じ**

大問4 説明

6点

(+1) − (+6) の 計算を、「ひく 数の 符号」と「絶対値」の 語を 使って 順に 説明しなさい。

ひく 数 +6 の 符号を 変えて (+1) + (−6) に 直す。
異符号なので 絶対値の 差 6 − 1 = 5。
絶対値の 大きい −6 の 符号 − を つけて −5。
（2点：ひく 数の 符号を 変えて 加法に 直す／2点：絶対値の 差を 出す／2点：絶対値の 大きい 方の 符号を つけて 答え）

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

1(1) は −5。1(2) は −8 + 3 = −5 で 負の数。1(3) は −4。

2(1) は $-\frac{3}{12} + \frac{10}{12} = \frac{7}{12}$。2(2) は −23。2(3) は +1.5（1.5 でも ○）。

大問3 は 各2点（判定の ○で 1点・正しい 答えの 四角で 1点）。(1) は 異符号なのに 絶対値を たしている（正しくは −5）。(2) は −6 + 9 = +3 で 正しい（「同じ」）。

大問4 は ひく 数の 符号を 変えて 加法に 直す・絶対値の 差・絶対値の 大きい 方の 符号を つけた 答え の 3つで 採点（各2点）。

別解の 扱い：分数は 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。小数も ○。+ と 単位は なくても ○。